

中学校 2年 道徳

想像する

話す・聞く
書く
読む

育成したい
国語力

登場人物の気持ちを感じ取りながら読む。
主人公の気持ちや思いを感じたり想像したりして、自分の言葉で話す。

主題名

「家族」 内容項目 4 - (6)

資料名

「一冊のノート」

出典：文部省 道徳教育推進
指導資料4 (平成6年3月)

本時のねらい

父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての役割を果たし、充実した家庭生活を築こうとする自覚を高める。

国語力育成の視点

中学生になると、自分の発言に対して周りの生徒がどのような反応をするのか、自分の発言をどのように受け止めてくれるのかと考えてしまい、発言ができにくい場合もあります。

自分の考えをもつことと同時に、友だちの考えに耳を傾け、聞くことのできる力を育てることが大切です。

そのためには、2人での対話や小集団での話し合い、自分の考えを書いて整理して自信をつけてから発言をするなどの工夫をし、想像する力や考える力を育成します。

導入

祖父母とのエピソードを紹介し合う。

展開

資料「一冊のノート」を読んで話し合う。

- ・「知らん顔をして通り過ぎた」時の主人公はどんな気持ちだったでしょう。
- ・父の話聞いたとき、何も言えなくなったのは、どうしてでしょう。

*「だまって祖母と並んで草取りを始めた」とありますが、主人公は黙って草取りをしているとき、心の中でどんなことを思っていたでしょう。

わたしたちにとって家族とはどんなものであるか自分の考えを書く。

終末

家族からの手紙を読む。

視点①

生徒一人一人の祖父母との触れ合いや思い出を想起させ、話が観念的にならないようにする工夫が必要です。また、発言しやすい雰囲気づくりも大切です。

視点②

祖母や家族に対する想いなど、主人公の心情を多面的に考えさせ、様々な意見を引き出すことが大切です。グループやペアでの話し合いを取り入れ、考える力や想像する力をはぐくみます。

視点③

本時の学習を通して、自分の考えが深まったところを中心に、家族というものに対する様々な思いを書き、自覚を高めることができます。

視点④

内面的な心の動きを表現する言葉（副詞・副詞句）に注目して発問を構成することで、道徳的価値に迫ることができます。

補助発問と予想される答え

どうして「だまって」なんだろう。

- ・今さらてれくさいから。・急に行動が変わるとおばあちゃんが変に思うから。
- ・いろんなことが頭のなかにあって、うまく言葉にできなかったから。
- ・言葉ではなく、これからの行動で示そうと思ったから。
- ・おばあちゃんも、自分の苦しみや不安を僕たちには隠していたから、自分たちもおばあちゃんに気兼ねさせないように、気付いていないふりをしないとけないと思ったから。

どうして「並んで」なんだろう。

- ・泣いている顔を見られたくないと思ったから。
- ・おばあちゃんの気持ちに寄り添いたかったから。
- ・おばあちゃんの苦しみや不安をそばで支えたいと思ったから。
- ・おばあちゃんと同じ目線で物を見ようという気持ちの表れ。
- ・老いていく祖母との限られた時間を、近くで過ごしていこうという気持ちの表れ。